

1. 基金(助成)の主旨

本基金は、学校法人東成学園(以下本学園)が設置する各学校の建学の精神に基づく教育の成果を上げるため、本学園の卒業生のうち、人格、技能ともにすぐれ、音楽家・舞台人として将来の大成が期待される者の行う研修に対し助成を行います。

2. 海外音楽研修生費用助成の対象

- (1) 原則として海外の教育機関などに留学し、技術を錬磨するとともに、その実体験を通じてさらに研鑽を深めることを志す者。
- (2) 申込み資格 次の要件をすべて満たす者とします。
 - ① 本学園の設置する学校を卒業または修了した者
 - ② 留学についての計画と目標が明確である者。
 - ③ 2025年3月までに留学が可能な者、または留学中の者。

3. 募集人数 若干名

4. 助成額

1名につき50万円を限度とし、留学の渡航にかかる経費の一部を助成します。(助成を受けられる回数は1名1回とします)

5. 応募方法

次の書類を準備し申込み締切りまでに、昭和音楽大学・学生生活支援室まで提出下さい。

- ① 下八川圭祐基金助成申請書
- ② 録音(録画)資料または作品スコア
 - 録音(録画)資料(CDまたはDVD／半年以内に演奏収録されたもの)
 - ・10～20分に納めること
 - ・収録曲目・収録日時・収録場所・演奏者(共演者を含む)を明記したシートを添付すること。
 - 作曲
 - ・作品のスコア
 - ・その作品の録音(録画)資料。
 - 指揮・バレエ・ミュージカル
 - ・録画資料(DVD)
- ③ 本学園に所属する教員からの推薦状1通。
- ④ 留学計画書(自由書式:留学期間、留学先国名・機関名、研修内容、師事予定の教員名等)
- ⑤ 研修計画および音楽活動としてリサイタル、コンクール、オペラ上演等の研究業績を証明できるもの(入学許可証、受入証明書、演奏活動の報告書・プログラム、成績表等 コピー可)
 - ※ 提出された①～⑤の資料は返却いたしません。
 - ※ この基金は昭和音楽大学同僚会助成金(同僚会会員のみ)との併用が可能です。

6. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 録音等資料視聴審査または作品審査

7. 申込み締切り 2024年10月18日(金)

8. 発表ならびに助成金の支給

2024年11月下旬に、応募いただいた方に対し個々に連絡いたします。
助成金は決定後1ヶ月以内に支給いたします。

9. 報告義務

助成を受けた方は、規約により研修終了後1ヶ月以内に活動報告および助成金使用明細報告書を提出していただきます。

下八川圭祐基金助成申請書

年 月 日

学校法人 東成学園
理事長 下八川 共祐 殿

申請者氏名 _____ 印

生年月日 年 月 日 歳

住 所

連絡先電話番号① ()

連絡先電話番号② ()

メールアドレス _____ @ _____

出身校

学 部 _____

学 科 _____

コース _____

入学年月 年4月入学

卒業年月 年3月卒業

学籍番号 _____

このたび、下八川基金助成規約に基づき、下記の研究業績・研修に対して助成をお願いいたしたく、必要書類を添付の上申請申し上げます。ご審査の程宜しくお願い申し上げます。

記

1. 研究業績・研修内容 別紙に詳細を記載のこと

2. 留学期間 _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日

3. 研修場所 国名 _____ 都市名 _____

(専攻楽器名・声種)

受入機関名 _____ (専攻: _____)

4. 留学前の演奏等略歴 別紙に詳細を記載のこと

※ 本申請書にて得た個人情報、本審査および関連する手続のみに利用し、本人の許可無く第三者提供されることはありません。

(添付書類等)

- ① 録音(録画)資料または作品スコア
- ② 本学園に所属する教員からの推薦状1通。
- ③ 留学計画書(自由書式:留学期間、留学先国名・機関名、研修内容、師事予定の教員名等)
- ④ 研修計画および音楽活動としてリサイタル、コンクール、オペラ上演等の研究業績を証明できるもの(入学許可証、受入証明書、演奏活動の報告書・プログラム、成績表等 コピー可)